

営農ウィークリーNEWS

JA特産品の魅力を紹介！



7月3日 京都市下京区にあるABCクッキングスタジオラクエ四条烏丸スタジオで、これから旬を迎える夏季の特産品「京おくら」と「京都茄子」の魅力を、料理教室の講師に紹介する取組を行いました。

今回の取組は、旬の地元農産物を栽培する生産現場の思いや栽培方法の工夫など食材の魅力を認知いただき、料理に活かしてもらうことを目的として初めて行いました。

「京おくら」は、夏の京都盆地特有の気候風土を生かして、新たに生産拡大を行っている品目です。

「京都茄子」は、ソルゴー障壁栽培や黄色 LED による害虫防除法など、環境にやさしい栽培法を積極的に取り入れている品目です。

当日は、ABC クッキングスタジオラクエ四条烏丸スタジオの講師、公益社団法人京のふるさと産品協会、JA 職員ら 10 人が参加しました。

農産物の魅力や栽培方法、生産者の思いなどを情報として伝えることができました。講師の方からは、食材の保存法や栽培の工夫など活発な質問や意見がでるなど、盛況に終えることができました。

今後、冬季には「花菜」「京はたけ菜」などの紹介を行う予定です。

TAC information



ボトルに記載されたRACコード

RACコードは、製品ラベルや、チラシなどに表示されています。
※すべての農薬製品に RACコードが掲載されているわけではありません。

知っていますか？

「RACコード」



RACコードとは、世界的な農薬製造会社の国際団体が定めた農薬の分類コードの事で、同じ作用性の農薬グループを一つにまとめて、それぞれの農薬にコード番号を付けています。

殺虫剤は「IRAC」、殺菌剤は「FRAC」、除草剤は「HRAC」といいます。

農薬による耐性・抵抗性は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用がその発生要因であると考えられています。RACコードを参考にして、同じ系統の農薬の連用を避けてください。

※RACコードは、農薬工業会のHP等でも確認することができます。

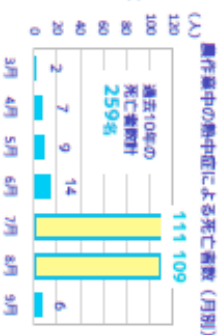
農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

農業者の
みなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7～8月に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを選ぶ

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所での作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数人で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風扇の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に気づけいけつくわをしておきましょう!

農林水産省



農作業中の 熱中症対策 チェック

高温時の作業は避けましょう

一般的に70歳以上の方は、のどかわきや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。

単独作業は避けましょう

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。

20分おきに

休憩 & 水分補給しましょう

涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょう。のどがかわいていなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう。



農作業中の死亡事故の約1割が、熱中症によるものです!
最近、急に熱くなってきましたので、熱中症には十分気をつけてください!